

いま

伝統的な音楽から現代風なテクニックまで
聴かせるベネズエラ音楽界の若き両雄による
コラボレーション

エドゥアルド・ ベタンクール

(アルパ)



ルイス・ピノ

(クアトロ)

ゲスト

ルシア塩満

2010

6.1(火) 19:00開演

草月ホール

港区赤坂7-2-21 Tel.03(3408)9113

前売 ¥4,000 / 当日 ¥5,000 (全席指定)



◎お問合せ:

ラティーナ Tel. 03(5768)5588

オフィス・アルペジオ Tel. 03(3902)5355

arpeggio@minos.ocn.ne.jp

http://www.arpalucia.com

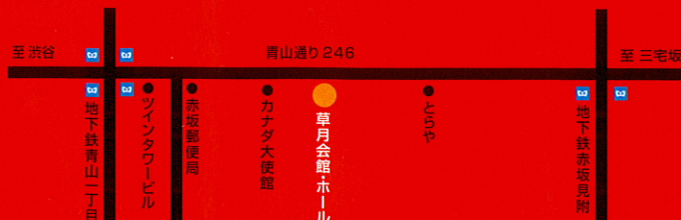
主催: ラティーナ、オフィス・アルペジオ

企画: ルシア塩満

後援: パラグアイ共和国大使館

ベネズエラ・ボリバル共和国大使館

招聘マネジメント: ラティーナ



●草月ホール 東京都港区赤坂7-2-21 Tel. 03-3408-9113

【アクセス】◎東京メトロ銀座線、半蔵門線、都営大江戸線「青山一丁目駅」4番出口 徒歩5分

◎東京メトロ銀座線、丸の内線「赤坂見附駅」A出口 徒歩10分



エドゥアルド・ベタンクール

カラカス生まれ。

類まれな音楽性を持ち合わせるベネズエラ・アルパ界を代表する若手技巧派奏者のひとり。南米はもちろん、ロンドンやワシントンなどへも演奏旅行をし、多くのトップ・ミュージシャンとの共演を重ねる。

2006年にはベネズエラ人歌手で世界的に活躍するヒルベルト・サンタ・ロサとラファエル“ボジョ”ブリーとコンサート・ツアーをする。2007年11月にパラグアイの首都アスンシオンで開催された第1回世界アルパ・フェスティバルにベネズエラ代表として出演し好評を得る。

2009年にはルシア塩満の初のベネズエラ公演にゲストとして共演する。

最近ではワシントンでマリアーノ・ゴンサレス(パラグアイ)、エドマル・カスターネーダ(コロンビア)とジョイント・コンサートを成功させる。

Eduardo Betancourt



ルイス・ピノ

カラカス生まれ。

幼少時より家庭の伝統でクアトロを演奏し始める。

14歳にしてエル・クアルテートのクアトロ奏者ラウル・デルガードにその才能を見いだされ、のちに現代最高のソロ奏者チェオ・ウルタードに師事。1998年、アリリオ・ディアス国際ギター・フェスティバルでプロ・デビュー。以来、ソロ活動の傍ら多くのミュージシャンの伴奏を務め、チェオ・ウルタードの代役としてアンサンブル・グルフィーオの公演に参加することも多数。

Luis Pino



ルシア塩満

1975年にプロ・デビューし、その後アルパとパラグアイ音楽の普及に力を注ぎ、後進を育てるためにアルパ教室を開設して自ら指導にあたる。「春のアルベジオ」やコンサート活動、CD制作などの実績が評価されて、パラグアイ政府から1995年に「文化功労賞」、2004年に「国家功労勲章・コメンダドル位」を授与される。

2007年に第19回ミュージック・ベンクラブ音楽賞を受賞、同年パラグアイで開催された第1回世界アルパ・フェスティバルにアジア代表として招待され出演。

2008年にはパラグアイ日本文化センターの20周年式典で招待記念演奏をする。

2009年に行った初のベネズエラ公演ではパラグアイ・アルパの音色で会場を包み好評を博す。コンサートには今年のゲストのエドゥアルド・ベタンクールがゲストとして登場。

Lucía Shiomitsu